

平成 22 年 7 月
海外電力調査会
電力国際協力センター

平成 22 年度 JICA 集団および国別研修「ガスタービン・石炭火力発電
～安定電力供給のためのメンテナンス技術向上～」の実施について

独立行政法人国際協力機構 (JICA) からの委託を受け開発途上国から研修員を受入れ、
関係機関の協力により電力分野における専門知識や技術の移転を行っています。

技術研修期間	平成 22 年 5 月 24 日 ～ 6 月 29 日
受入機関	社団法人 海外電力調査会 株式会社 パワー・エンジニアリング・アンド・ トレーニングサービス
研修員	インドネシア(1)、ウズベキスタン(1)、モンゴル(1)、イエメン(1) シリア(1)、タンザニア(1)、ボツワナ(1)、イラク(3) 計 10 名
研修内容	・講義 日本の電気事業の概要、火力発電所の環境保全技術、 火力発電所の運転・運用技術、火力発電所の保守技術 ・視察 タービン (蒸気, ガス) 製造工場 コンバインドサイクル発電所、石炭火力発電所

